

NO.2

【問題文】

インドでのベーシックインカム導入に関する議論は大きな注目を集めています。賛成派は、ベーシックインカムが貧困を緩和し、すべての市民に安定した財政基盤を提供することで不平等を減らすことができると主張しています。これにより、基本的な生活必需品へのアクセスが確保され、健康や教育の成果が改善される可能性があります。また、さまざまな対象補助金を単一の普遍的な支払いに置き換えることで、福祉制度を簡素化する手段としても見られています。

一方、批判派は、インドのように大規模で多様な国でこのようなプログラムを実施する財政的な実現可能性について懸念を表明しています。コストが非常に高く、税金の引き上げや他の重要なサービスの削減を招く可能性があるとして主張しています。また、ベーシックインカムが労働意欲を減少させ、経済生産性に悪影響を及ぼす可能性があるという懸念もあります。さらに、効果的な実施と不正使用や詐欺の防止が大きな課題と見なされています。

これらの対立する意見にもかかわらず、政策立案者や研究者は、ベーシックインカムのインドにおける潜在的な影響をよりよく理解するためにパイロットプログラムを検討し、データを収集しています。目標は、財政的な懸念に対処しながら、国民に意味のある支援を提供するためのバランスを見つけることです。

【解答例】

インドでベーシックインカムを支持する人々は、それが市民に財政的安定を提供し、福祉制度を簡素化できると主張しています。しかし、批評家は、財政資源の不足、労働意欲の低下、人々の倫理に関するいくつかの悪影響があり、それが経済の低迷につながる可能性があるとして主張しています。財政上の懸念と生活の安定のバランスを当局と専門家が見つかるまでは、この議論は終わらないでしょう。